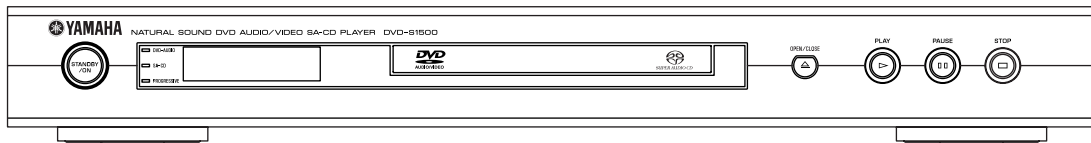




DVD AUDIO/VIDEO SA-CDプレーヤー

DVD AUDIO/VIDEO SA-CD PLAYER

DVD-S1500



取扱説明書

ヤマハDVD AUDIO/VIDEO SA-CDプレーヤーDVD-S1500をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要に応じてご利用ください。
- 保証書は、「お買上げ日、販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば△は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえばⓧは「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえば●は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音が出る。
- 煙が出る。
- 内部に水や異物が混入した。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
- ステープルで止めない。
- 加工をしない。
- 熱器具には近づけない。
- 無理な力を加えない。

芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
- 加湿器を過度にきかせた部屋
- 雨や雪、水がかかる場所

水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
- じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
- あおむけや横倒しには設置しない。
- 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。

(少なくとも本機の左右、上、背面各2.5cm以上離して設置してください。)

本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



禁止

電池からもれ出た液には直接触れない。

液が目や口に入ったり、皮膚についたりした場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



手を挟まれない
よう注意

ディスクトレイに手を入れ、挟まれないように注意する。

閉めるときに挟まれて、けがの原因となることがあります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。

禁止



直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。

禁止



再生を始める前には、音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。

必ず行う



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止



電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

禁止



移動をするときには本機(または接続器機)の電源スイッチを切り、すべての接続を外す。

- 機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。

プラグを抜く



長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

禁止



大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。

禁止



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。
間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。
電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。
破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。
感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。
それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。
差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。
感電や発熱・火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しない。

ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届く状態でご使用ください。

- ・ デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

音楽を楽しむエチケット



楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

電源高周波について:本機は「JIS C 61000-3-2」適合品です。

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部:限度値—高調波電流発生限度値(1相当あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

はじめに	9
再生できるディスク	9
ディスクのお手入れについて	9
DVD ビデオのリージョンコードについて	9
付属品	10
リモコンに電池を入れる	10
リモコンの使用について	10

各部の名称とはたらき	11
フロントパネル（本体前面）.....	11
リモコン	12

準備する	13
接続について	13
デジタル入力のある機器との接続	13
アナログマルチチャンネル入力のある機器との接続 ..	13
アナログステレオ入力のある機器との接続	13
映像端子の接続	14
VIDEO 端子 <A>	14
S VIDEO (S1/S2) 端子 	14
コンポーネント出力端子 <C>	14
SCAN MODE セレクター	14
電源を入れる	15

オンスクリーンメニュー	16
オンスクリーンメニューの基本操作	16
「ユーザー設定」メニュー	16
「機能」	16
「アドバンストピクチャー」	16
「ピクチャー」	17
「サウンド」	17
「ツールバー」メニュー	17
「プログラム再生」	17
「特殊再生」	17
「再生オプション」	18
「サーチ」	18
「スライドショー」	18
「セットアップ」メニュー	18
「視聴制限」	18
「機能」	18
「ビデオ」	19
「オーディオ」	19
「言語」	20
「スピーカー」	20
「DVD/CD モード」	21
「SA-CD モード」	21

再生する	22
基本の操作	22
DVD ビデオと DVD オーディオ	22
ディスクの再生	22
リジューム機能	22
DVD の各種機能	23
メニュー	23
カメラアングル	23
音声言語と音声フォーマットの変更	23
字幕言語の選択	23
DVD オーディオの各種機能	23
画面ページの切り替え	23
ボーナスグループの再生	23
DVD ビデオモード	23
スーパーオーディオ CD	24
ディスクの再生	24
再生モードの切り替え	24
オーディオ CD	25
ディスクの再生	25
ビデオ CD とスーパービデオ CD	25
ディスクの再生	25
プレイバックコントロール (PBC) 機能	25
MP3	26
MP3 ディスクの機能	26
ディスクの再生	26
アルバム/トラックの選択	26
MP3 テキスト	26
JPEG	26
JPEG ディスクの機能	26
ディスクの再生	27
スライドショー設定	27
画像の回転	27
よく使う機能	27
チャプター/トラックの選択	27
サーチ	28
スローモーション	28
静止画像とコマ送り再生	28
タイムサーチ	28
リピート再生	29
リピート A-B	29
スキャン	29
シャッフル (順不同) 再生	29
ズーム	29
プログラムリストの作成 (トラックセレクト) ..	30
プログラム再生	30
登録項目の消去	30
リストクリア (全消去)	30
ディスクロック	31
ディスクの視聴許可	31
ディスク視聴許可の取り消し	31

目次

視聴制限.....	32
国コード.....	32
パスワードの変更.....	32
パスワードを忘れてたら.....	32

故障かな？と思ったら **33**

主な仕様 **34**

**ヤマハホットライン
サービスネットワーク** **35**



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」、「PRO LOGIC」およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。



DTS および DTS Digital Surround はデジタルシアターシステムズの登録商標です。



DCDi は、Genesis Microchip Inc. の事業部門である Faroudja の商標です。

本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、またマクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の視聴用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

再生できるディスク

本機はディスクのレーベル面に下記のロゴマークがついているディスク（規格に合致しているもの）を再生できます。それ以外のディスクは、本機の故障やディスクの破損の原因となりますので使用しないでください。



本書内では、下記のマークを使用しています。

DVD オーディオ 	DVD ビデオ 	ビデオ CD ^{*1}
スーパーオーディオ CD 	音楽 CD 	MP3

*1 アイコンはスーパービデオ CD を含みます。

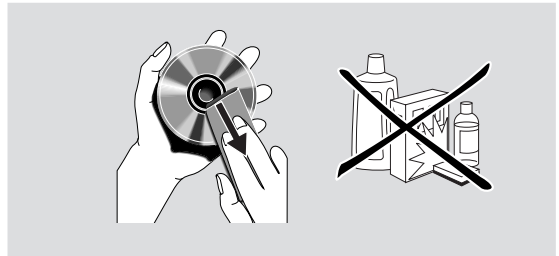
ご注意：

- 本機は以下のディスクに対応しています。
スーパーオーディオ CD、DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、スーパービデオ CD、音楽 CD、CD-R、CD-RW（MP3、JPEG 対応）、DVD+R/RW、DVD-R/RW。
- CD-R/RW、DVD+R/RW はファイナライズされたディスクのみ再生できます。
- DVD-R/RW は、ビデオフォーマットで録画され、ファイナライズされた場合のみ再生できます。
- 記録状態やディスクの特性によっては、再生できない場合があります。
- CD-R/RW ディスクは信頼性あるメーカーのディスクのみをご使用ください。
- ドルビーデジタル、DTS デジタルサラウンド、MPEG デジタルオーディオに対応しています。
- PAL、NTSC に対応しています。
- 本機は PAL/NTSC ビデオフォーマット変換機能を搭載しています。異なったビデオフォーマットのディスクをご覧ください。（19 ページ「ビデオ出力方式」参照）
- ハート型など特殊形状のディスクは使用しないでください。
- ラベルや接着テープが張られているディスク、または表面に多くの傷があるディスクは使用しないでください。
- 本機は以下のディスクを再生できません。
フォト CD、CD-ROM、DVD-ROM、DVD-RAM、CDV、CD 規格外ディスクなど。

- DVD、ビデオ CD の中には操作や機能が本書の記載と異なる場合があります。これはソフト制作者の意図によるもので、本機の故障ではありません。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。
- がテレビ画面に表示された場合は、その機能がお使いになれないことを表しています。

ディスクのお手入れについて

ディスクが汚れたときは、乾いた柔らかい布で中心から外側へ拭いてください。その際、レコードクリーナーやシンナーなどを使わないでください。



DVD ビデオのリージョンコードについて

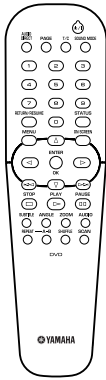
DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクにはリージョンコード（発売地域ごとに割り当てられた識別番号）が決められています。本機では下表のディスクが再生できます。詳しくはディスクのジャケットなどの記載もご覧ください。

仕向	本機のリージョンコード	再生できるディスクのリージョンコード
日本		 またはリージョンコード 2 を含むディスク

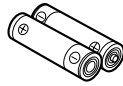
付属品

すべてそろっているかご確認ください。

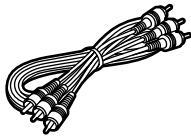
リモコン



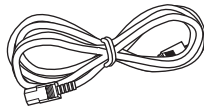
単3乾電池 (2本)



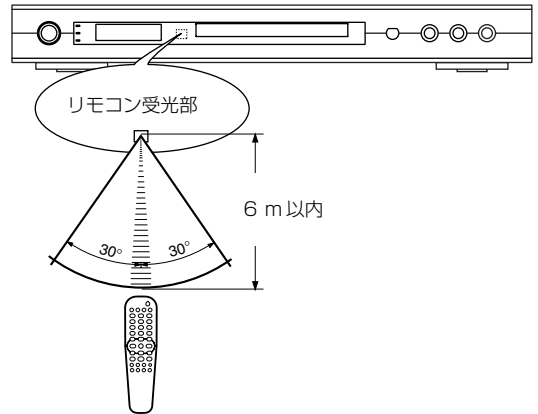
音声／映像ピンケーブル



電源コード



リモコンの使用について

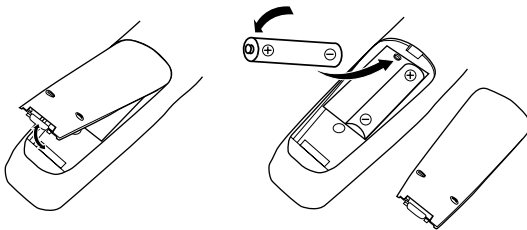


ご注意：

- ・ 本機のセンサーに向けて使用してください。
- ・ 落としたりショックを与えたりしないでください。
- ・ 高温多湿の状態で長時間保管しないでください。
- ・ 水などをこぼさないようにしてください。

リモコンに電池を入れる

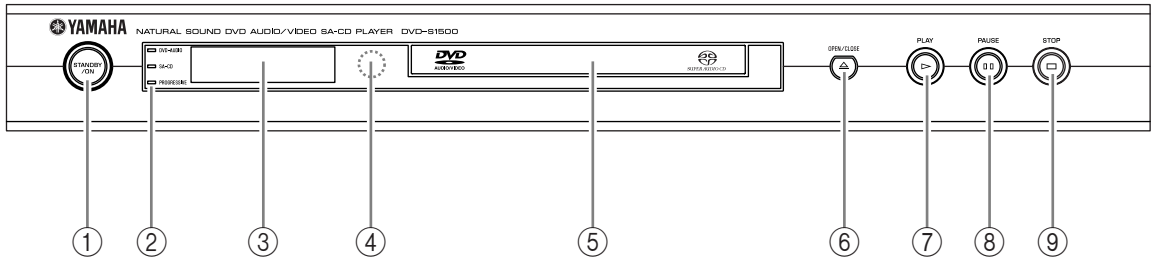
- 1 裏フタのタブを押さえながらカバーを開きます。
- 2 +と-の向きを確認して電池を入れます。
- 3 フタを閉めます。



ご注意：

- ・ 液漏れを防ぐために、消耗した電池は早めに交換してください。また長時間（1ヶ月以上）リモコンを使用しないときは電池を取り出してください。
- ・ 乾電池が液漏れした場合は、液に触れないよう注意して破棄してください。液が目や口に入ったり皮膚についたりした場合は、すぐに水で洗い流し医師に相談してください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- ・ 新しい電池と、一度使用した電池を混ぜて使用しないでください。種類の異なる電池（アルカリとマンガンなど）を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- ・ 電池を廃却する際は、各地自治団体の条例に従って処理してください。

フロントパネル（本体前面）



① STANDBY/ON キー

本機の電源の入／待機（スタンバイ）を切り替えます。スタンバイ中は、リモコンからの赤外線信号を受信するために、少量の電力を消費します。

② DVD-AUDIO インジケーター

DVD オーディオ信号を検出したとき点灯します。

SA-CD インジケーター

スーパーオーディオ CD 信号を検出したとき点灯します。

PROGRESSIVE インジケーター

プログレッシブモードのとき点灯します。

③ フロントパネルディスプレイ

本機の操作状態を表示します。

・ A.DRCT

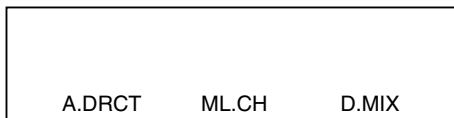
オーディオディスクを再生中にリモコンの AUDIO DIRECT キーを押してオーディオダイレクトモードにすると点灯します。

・ ML.CH

マルチチャンネルのソースを再生すると点灯します。

・ D.MIX

再生しているマルチチャンネルのソースが 2 チャンネルへのダウンミックス可能なとき点灯します。



④ リモコンセンサー

リモコンからの信号を受信します。

⑤ ディスクトレイ

再生するディスクをセットします。

⑥ OPEN/CLOSE ▲ キー

トレイを開閉します。

⑦ PLAY ▶ キー

ディスクを再生します。

⑧ PAUSE || キー

再生を一時停止します。

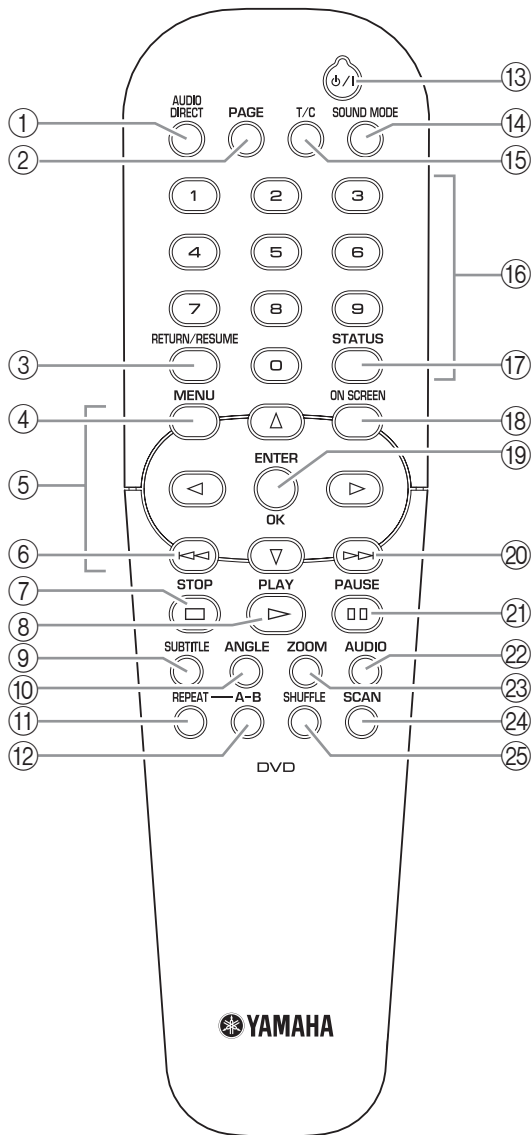
⑨ STOP ■ キー

再生を停止します。

リアパネル（本体背面）については 13、14 ページをご覧ください。

各部の名称とはたらき

リモコン



- ① **AUDIO DIRECT キー**
オーディオディスク再生中、ビデオ出力をオン/オフします。
- ② **PAGE キー**
DVD オーディオの静止画像（ページ）を切り替えます。
- ③ **RETURN/RESUME キー**
前のメニュー画面に戻る、または再生を再スタートします。
- ④ **MENU キー**
DVD ディスクのメニューを表示します。
- ⑤ **◀▶▲▼ キー**
メニュー内の項目を選びます。
- ⑥ **◀◀ キー**
チャプターまたはトラックの頭出しします。約2秒以上押しつづけると早戻し再生します。

- ⑦ **■ STOP キー**
再生を停止します。
- ⑧ **▶ PLAY キー**
ディスクを再生します。
- ⑨ **SUBTITLE キー**
字幕言語を切り替えます。
- ⑩ **ANGLE キー**
DVD ビデオ再生時にアングルを切り替えます。
- ⑪ **REPEAT キー**
チャプター、トラック、ディスク全体をリピート（繰り返し）再生します。
- ⑫ **A-B キー**
見たい箇所を A-B で選択して、繰り返し再生（A-B リピート）します。
- ⑬ **⏻ / ⏪ キー**
本機の電源の入/待機（スタンバイ）を切り替えます。選択した箇所を繰り返し再生します。
- ⑭ **SOUND MODE キー**
音声モードを切り替えます。
・ SA-CD: CD、ステレオ、マルチチャンネルから切り替えます。（ハイブリッドディスクか複数エリアを収録しているディスクのみ）
・ DVD/VCD: ステレオ、Dolby サラウンド互換、3D エフェクト、マルチチャンネルから切り替えます。
- ⑮ **T/C キー**
タイトル/チャプターを選びます。
- ⑯ **数字キー**
メニュー画面などで数字を入力します。
- ⑰ **STATUS キー**
再生情報を表示します。
- ⑱ **ON SCREEN キー**
本機のオンスクリーンメニュー表示をオン/オフします。
- ⑲ **ENTER/OK キー**
メニュー選択を確定します。
- ⑳ **▶▶ キー**
次のチャプターまたはトラックを頭出しします。約2秒以上押しつづけると早送り再生します。
- ㉑ **|| PAUSE キー**
再生を一時停止します。画像再生時はキーを押すごとにフレーム再生（コマ送り）します。
- ㉒ **AUDIO キー**
音声言語や音声フォーマットを切り替えます。
- ㉓ **ZOOM キー**
映像を拡大します。
- ㉔ **SCAN キー**
ディスクの各トラックやチャプターの最初の 10 秒間を再生します。
- ㉕ **SHUFFLE キー**
トラックを順不同で再生します。

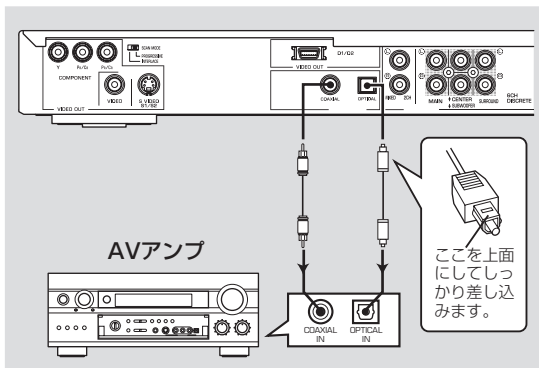
接続について

接続のまえに、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

- ・ ご使用になる機器によっていろいろな接続方法がありますが、ここでは AV アンプを使用した代表的な例を紹介します。
- ・ 接続する機器の取扱説明書もご参照ください。
- ・ 本機をビデオデッキを通してテレビに接続しないでください。コピープロテクト機能が動き正常に再生できないことがあります。
- ・ 本機を AV アンプなどの PHONO 端子 (レコードプレーヤー接続端子) に接続しないでください。

デジタル入力のある機器との接続

ドルビーデジタル / DTS のマルチチャンネル再生を楽しむには、本機の同軸 (COAXIAL) 端子または光デジタル音声出力 (OPTICAL) 端子と、市販のケーブルを使って、AV アンプのデジタル入力端子に接続します。本機はサンプリング周波数 88.2/96kHz に対応しています。コピープロテクトのない音源の場合、本機を 88.2/96kHz 対応の機器に接続すれば、88.2kHz、および 96kHz サンプリング周波数の高音質なステレオ音声をお楽しみいただけます。

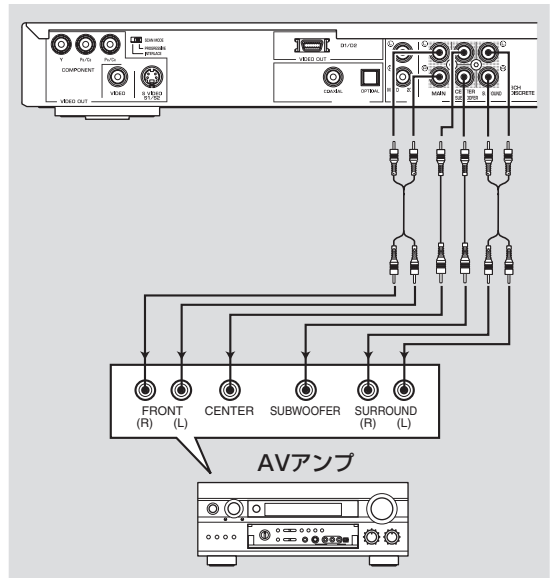


ご注意：

- ・ AV アンプ側が対応していないデジタル音声フォーマットを出力すると、強いノイズを発生したり音が出ないことがあります。このようなときはディスクのメニュー画面から正しい音声フォーマットを選択してください。選択された音声フォーマットが数秒間表示されます。また、AUDIO キーを繰り返し押しすと、音声言語だけでなくディスクに収録されている音声フォーマットも切り替わり場合があります。
- ・ スーパーオーディオ CD の音声信号は本機の DIGITAL OUT 端子からは出力されません。
- ・ ドルビーデジタル、DTS デジタルサラウンドを再生した場合は、それらに対応した AV アンプに本機を接続してください。

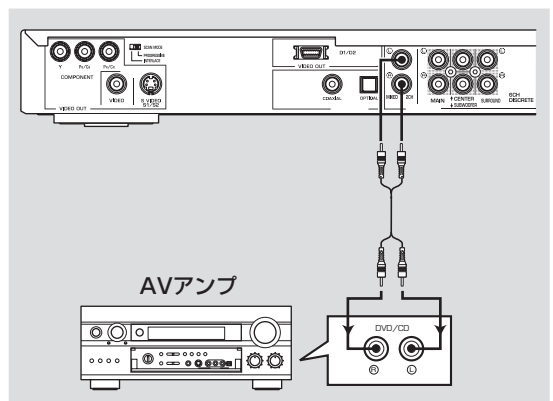
アナログマルチチャンネル入力のある機器との接続

本機の 6CH DISCRETE 端子をアナログマルチチャンネル入力端子のある AV アンプに接続して高音質なサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。スーパーオーディオ CD やマルチチャンネル音声収録された DVD オーディオディスクの再生にはこの接続をお薦めします。最高の音質で再生されます。



アナログステレオ入力のある機器との接続

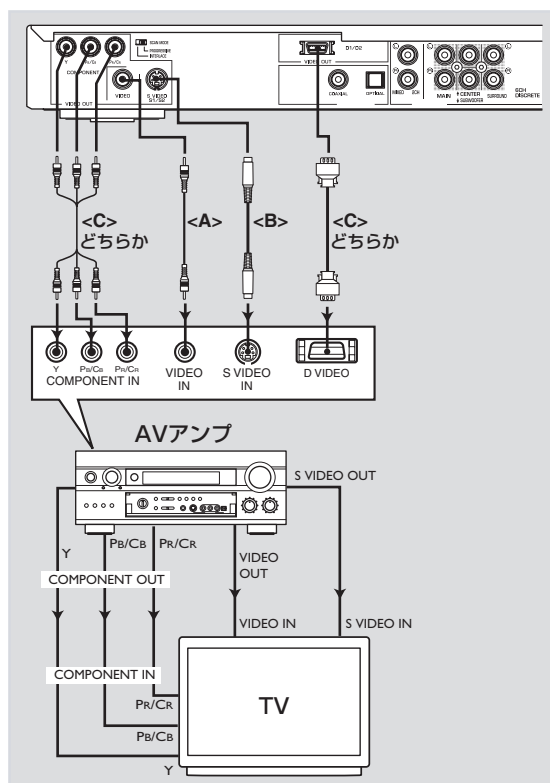
付属の音声 / 映像ピンケーブルを使って本機の MIXED 2CH 端子と AV アンプやテレビの音声入力端子などに接続します。



映像端子の接続

AV アンプにビデオ出力端子がある場合、本機のビデオ出力 (D1/D2 端子、COMPONENT 端子、VIDEO 端子、S VIDEO 端子のどれか) を AV アンプのビデオ入力に接続し、それから AV アンプのビデオ出力を TV のビデオ入力に接続します。AV アンプの入力選択スイッチだけで一台のテレビに LD、VDR などの異なる映像/音声を切り替えてお楽しみ頂けます。

下図のように本機の VIDEO 端子 (A 接続)、S VIDEO 端子 (B 接続)、D1/D2 端子または COMPONENT 端子 (C 接続) のいずれかを接続します。



VIDEO 端子 <A>

一般的な映像信号 (コンポジット) を出力します。付属のケーブルを使用して接続します。

S VIDEO (S1/S2) 端子

色と輝度を分けて伝送し、一般的な映像信号 (コンポジット) より美しい映像を再生します。市販の S ビデオケーブルを使って S ビデオ入力端子 (S VIDEO) に接続してください。

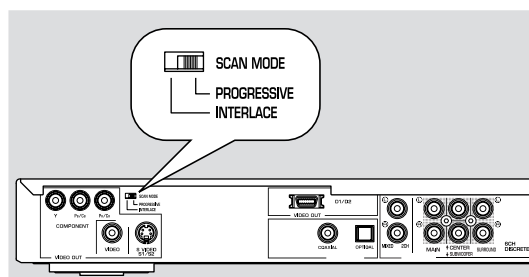
またこの端子は S1/S2 機能に対応しております。ご使用になるテレビの S ビデオ入力端子にあわせて映像設定メニューの「S1/S2 選択」設定 (19 ページ) を変更して下さい。

コンポーネント出力端子 <C>

色差信号 2 種類と輝度を分けて伝送し、S ビデオよりさらに美しい映像を再生します。また、プログレッシブ信号を出力できるので、プログレッシブ対応のテレビを使用するとさらに高画質が楽しめます。D1/D2 ビデオ端子と COMPONENT (Pr/Cr、Pb/Cb、Y) 端子の 2 種類の接続方法があります。市販のケーブルを使って接続してください。

SCAN MODE セレクター

本機の COMPONENT VIDEO OUT 端子および D1/D2 ビデオ端子から出力する映像信号のタイプを切り替えます。



INTERLACE: 本機をプログレッシブ対応ではない従来のテレビと接続している場合に選択します。

PROGRESSIVE: 本機をプログレッシブ対応のテレビと接続している場合に選択します。

プログレッシブ方式は 1 秒を 60 フレームで構成するため画面のちらつきが抑えられた高品質な画像を再現します。プログレッシブ再生中は本機のフロントパネルの PROGRESSIVE インジケータが点灯します。

ご注意:

・ 4:3 ソフトをプログレッシブ出力しながら 16:9 ワイド画面のテレビで再生する場合は、画像がスクリーン横いっぱいには広がって見えることがあります。その場合には、お使いのテレビに合った画面表示に変えてください。本機のオンスクリーンメニューの「4:3 アスペクト」で比率を変更することもできます。

一部のプログレッシブ (525p および 625p) 入力対応のテレビ (モニター) は本機と完全な互換がとれていないため、プログレッシブ再生時に画像に乱れが生じる場合があります。その場合には、プログレッシブ機能をオフにして再生するか、本機と互換がある機器をご使用ください。

なお、本機と互換があるヤマハの機器は下記の通りです。

DPX-1100、LPX-510

互換性についてご質問のある場合は当社のお客様ご相談センター (0570-01-1808) へお問い合わせください。

電源を入れる

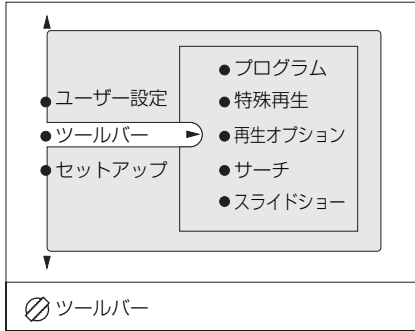
- 1 電源コードをコンセントに接続します。
- 2 テレビと AV アンプの電源を入れます。
- 3 AV アンプで本機を接続した入力 (DVD) を選びます。AV アンプの取扱説明書をご覧ください。
- 4 STANDBY/ON ボタンを押して本機の電源を入れます。
- 5 テレビの入力を切り替えます。
例えば AV アンプをテレビのビデオ入力 2 端子に接続したときは、テレビの入力切替でビデオ入力 2 を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
→ディスプレイが点灯し、本機の情報画面がテレビ画面に表示されます。

オンスクリーンメニュー

本機の初期設定をお好みにあわせて変更したり、便利な機能を設定できます。

オンスクリーンメニューの基本操作

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ テレビ画面にオンスクリーンメニューが表示されます。



- 2 ▲▼ キーで設定したいメニューを選択し、▶ キーを押してそのメニューページに入ります。
- 3 ▲▼ キーで変更したい設定項目を選択し、▶ キーを押して設定の選択に移動します。
- 4 ▲▼ キーでお好みの設定を選択します。
- 5 ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消え、設定完了です。

「ユーザー設定」メニュー

「機能」

「ディマー」

本機のフロントパネルのディスプレイの明るさを調節します。映画視聴時などに気になる場合に暗くすることができます。「DIM1」がもっとも暗くなります。

選択肢：「DIM1」「DIM2」「ノーマル」
初期設定：「ノーマル」

「ウェイクアップタイマー」

本機を一定時間経過後にスタンバイモードからオンにします。設定したタイマーが一度オンになると選択時間はリセットされて「0」に戻ります。

選択肢：「0」～「600」分（30分単位）
初期設定：「0」

「ステータスバー」

本機の状態を表示します。初期設定は「オン」で「オフ」に設定すると表示されません。

選択肢：「オン」「オフ」
初期設定：「オン」

「アドバンスピクチャー」

以下のパラメーターで細かな映像調整ができます。コンポーネント出力および D1/D2 出力に有効な機能です。

「4:3 アスペクト」*1

テレビ画面の映像縦横比率を選択できます。

「ストレッチ」：ワイドテレビ（16:9）にワイドでないテレビ画面比率（4:3）の画像をストレッチをかけて再生します。両サイドが、センター部分より広がります。

「シュリンク」：ワイドテレビ（16:9）にワイドでないテレビ画面比率（4:3）の画像を再生します。ストレッチはかけません。

「オート」：画像の比率は調整せずに再生します。

お使いのテレビ側に映像アスペクト比率調整機能がある場合はテレビ側で調整してください。

選択肢：「ストレッチ」、「シュリンク」、「オート」
初期設定：「オート」

「TrueLife」*1

画像コントラストと色調を強めることで画像をよりダイナミックにします。

選択肢：「0」～「+7」
初期設定：「0」

「DCDi」*1

DCDi（Directional Correction Deinterlacing）は画像のアングルエッジを処理してピクセルを埋める技術です。DCDi を「オン」に設定すると画像がより鮮明になります。とくにスローモーション映像で顕著です。

選択肢：「オン」、「オフ」
初期設定：「オン」

「クロマディレイ」

色の信号と明るさの信号は必ずしも同期していません。「クロマディレイ」設定は色信号の遅れを調整し完璧にクリアな画像を再生します。

選択肢：「-3」～「+3」
初期設定：「0」

「ガンマ」

画像の強さをノンリニアに調整します。プラス（+）設定では暗い場面の低いレベルを上げます。一方、マイナス（-）設定ではコントラストを強調します。

選択肢：「-7」～「+7」
初期設定：「0」

*1 プログレッシブ出力および D2 出力にのみ有効です。

「ピクチャー」

「ビデオポジション」

テレビの映像を左右にスクロールすることで画像位置を調整します。

選択肢：「+1」～「+7」

初期設定：「+4」

「カラー」*2

色のレベルを調整します。

選択肢：「-7」～「+7」

初期設定：「0」

「コントラスト」*2

画像の明暗を強調します。

選択肢：「-7」～「+7」

初期設定：「0」

「ピクチャーモード」*2

色調を自分の好みや再生ソースに合わせて調整できます。他の「ピクチャー」設定で「コントラスト」、「カラー」、「あかるさ」、「シャープネス」のいずれかの設定を変更した場合は、この「ピクチャーモード」設定は自動的に「パーソナル」になります。

選択肢：「リッチ」、「ナチュラル」、「ソフト」、「パーソナル」、「アニメ」

初期設定：「ナチュラル」

「あかるさ」*2

画像全体の明るさを調整できます。

選択肢：「-7」～「+7」

初期設定：「0」

「シャープネス」*2

画像のシャープさを調整できます。

選択肢：「-7」～「+7」

初期設定：「0」

*2 コンポジット出力およびSビデオ出力にのみ有効です。

「サウンド」

「カラオケボーカル」

マルチチャンネルのDVDカラオケディスクを再生するときに設定します。

「オン」にすると、ディスクのカラオケボーカルがミックスされます。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

ご注意：

- ・「アナログ出力」メニューを「マルチチャンネル」にしているとき、MIXED 2CH 端子からカラオケボーカルは出力されません。

「クリアボイス」

深夜など音量を小さくして視聴するときでも、映画などの会話が聞き取りやすくなるよう、会話の音量が強調されます。

この機能は特定のマルチチャンネルディスクでのみ有効です。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

「ナイトモード」

「オン」に設定すると、大きな効果音などを控えめに再生します。深夜にアクション映画などを視聴する場合に便利です。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

「CD アップサンプリング」

44.1kHz/16ビットのCDを高サンプリング周波数に変換し音質を向上します。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

ご注意：

- ・「アナログ出力」メニューを「マルチチャンネル」にしているときは、アップサンプリング無効です。

「ツールバー」メニュー

「プログラム再生」

トラックやチャプターをお好みの順番で再生できます。トラック、チャプターを選択して、プログラムリストを作成し、「プログラム再生」を「オン」にすると、そのリストの順番で再生されます。

「リストクリア」

プログラムリストの内容を削除します。

「プログラム再生」

プログラム再生をオン、オフします。

「トラックセレクト」

プログラム再生のトラックとチャプターを選びます。

「プログラムリスト」

プログラムリストを表示します。

ご注意：

- ・プログラム再生の詳細は30ページをお読みください。

「特殊再生」

「回転」

JPEG ファイルの画像を回転します。

選択肢：「-180°」、「-90°」、「0」、「+90°」、「+180°」

初期設定：「0」

「ズーム」

画像を拡大できます。▲▼◀▶ キーで表示されたカーソルを移動し、ENTER キーを繰り返し押し押ししてサイズを選択します。ズームモードを解除するには、RETURN/RESUME キーを繰り返し押し、カーソルをオンスクリーンメニューから消します。

オンスクリーンメニュー

「チャプターレビュー」

ディスク内のチャプター／トラックをそれぞれ10秒づつ再生します。この機能はリモコンのSCANキーを押しても表示されます。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

「アングル」

同時に複数のアングルから撮影したシーンを収録しているディスクの再生中に、お好みのアングルを選択することができます。アングル数などはディスクによって変わります。

「ページ」

DVD オーディオの静止画像をページを切り替えます。

「再生オプション」

「DVDビデオモード」

DVD オーディオディスクによっては通常のDVDビデオプレーヤーで再生可能なDVDビデオコンテンツが入っています。これを再生するには「DVDビデオモード」をオンにします。ディスクを取り出したり本機をスタンバイ状態にするとこの設定は「オフ」に戻ります。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

「音声」

音声フォーマット、音声言語を選択します。選べるフォーマット、言語はディスクによって異なります。

「ディスクナビ」

再生するタイトル、チャプター、トラックなどを選択します。

「字幕」

字幕を選択します。ディスクに入っている言語のみ選択できます。

「サーチ」

「コマ送り」

1フレーム（コマ）ずつ再生します。逆方向にも再生できます。画像が収録されているディスクのみの機能です。DVDは逆方向にも再生できます。

「早送り／早戻し」

早送り／早戻しの再生スピードを選択します。

選択肢：「-32」、「-8」、「-4」、「+1」、「+4」、「+8」、「+32」

「タイムサーチ」

経過時間を入力すると、そこから再生します。

「スロー再生」

スロー再生（送り／戻し）のスピードを選択します。

選択肢：「-1」、「-1/2」、「-1/4」、「-1/8」、0、「+1/8」、「+1/4」、「+1/2」、+1

「スライドショー」

JPEGファイルのスライドショー再生に使用します。

「表示時間」

各フレーム画像を表示している時間を設定します。

選択肢：「おせい」、「ノーマル」、「はやい」

初期設定：「ノーマル」

「セットアップ」メニュー

「視聴制限」

「ディスクロック」

ディスクごとに視聴制限をかけることができます。ディスクロックが「オン」の場合、ディスクを再生したいときは4桁のパスワードを入力して設定を変更してください。

選択肢：「オン」「オフ」

初期設定：「オフ」

「パスワード変更」

4桁のパスワードを変更できます。まず現在のパスワードを入力してから新しいパスワードを入力します。

「パスワード入力」

4桁のパスワードを入力しディスクロックを解き、「視聴制限」メニューを表示します。

「視聴制限レベル」

ディスクにお子様が見るのに適さないシーンがある場合に、視聴制限レベルの設けてあるディスクではディスク全体、または特定のシーンに視聴制限をかけることができます。8段階のレベル設定があります。国によって制限レベルが違いますので「国コード」で国を選択します（32ページの「視聴制限」をご覧ください）。

選択肢：「0」～「8」

「国コード」

視聴制限レベルに適用させる国を選びます。

「機能」

「PBC」

「オン」に設定するとビデオCDのPBC（プレイバックコントロール）メニューが表示されます。

選択肢：「オン」「オフ」

初期設定：「オン」

「スリープタイマー」

「オン」に設定すると、再生が停止した状態で何も操作せずに20分経過したとき本機はスタンバイモードになります。

選択肢：「オン」「オフ」

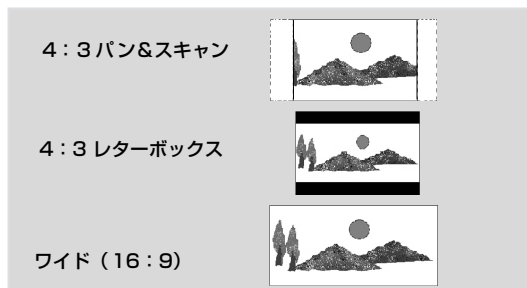
初期設定：「オフ」

「ビデオ」

「テレビ画面」

ワイドテレビでない従来のテレビをお使いのときは「4:3パン&スキャン」、または「4:3レターボックス」に設定してください。「4:3パン&スキャン」ではワイドの映像は左右がカットされます。「4:3レターボックス」ではワイドの映像は上下に帯が入った映像になります。ワイドテレビをお使いの場合は「ワイド(16:9)」に設定してください。

選択肢: 「4:3パン&スキャン」「4:3レターボックス」「ワイド(16:9)」
初期設定: 「4:3パン&スキャン」



「ビデオ出力方式」

本機から出力する映像方式を「NTSC」「PAL」「オート」から選択できます。日本国内の映像信号方式はNTSCです。

選択肢: 「NTSC」「PAL」「オート」
初期設定: 「NTSC」

以下のように変換されます。

ディスクのフォーマット	出力フォーマット		
	選択モード		
	NTSC	PAL	オート
NTSC	NTSC	PAL	NTSC
PAL	NTSC	PAL	PAL

ご注意:

- ・プログレッシブスキャン出力時は、本機のVIDEO端子およびS VIDEO端子から出力されるビデオ信号は変換されません。
- ・変換時に画像が歪む場合があります。
- ・お使いのテレビが選択されたフォーマットと互換性がない場合は画像が乱れてオンスクリーンメニューが読めなくなります。その場合は以下のようにして「ビデオ出力方式」を変更してください。

- ・「PAL」を選択するには:
リモコンのPLAYキー→数字キー2→数字キー5→数字キー6→PLAYキーを順に押します。
- ・「NTSC」を選択するには:
リモコンのPLAYキー→数字キー2→数字キー5→数字キー7→PLAYキーを順に押します。

「S1/S2」

本機のS VIDEO映像出力端子は、S1機能(4:3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16:9のサイズに戻して再生)とS2機能(S1に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱい再生)に対応しております。ご使用になるテレビのSビデオ入力端子にあわせて設定を変更してください。

選択肢: 「S1」「S2」
初期設定: 「S1」

「オーディオ」

「デジタル出力」

お使いのAVアンプにあわせてデジタル出力のタイプを選択できます。お使いのAVアンプがマルチチャンネルデコーダーを搭載していない場合にのみ「PCM」を選びます。マルチチャンネルデコーダーを搭載したAVアンプに本機のデジタル出力を接続する場合は「ビットストリーム」を選びます。

選択肢: 「オフ」「PCM」「ビットストリーム」
初期設定: 「ビットストリーム」

ご注意:

- ・スーパーオーディオCDはデジタル出力できません。

「アナログ出力」

お使いのAVアンプにあわせてアナログ出力のタイプを選択できます。

選択肢: 「ステレオ」「Dolbyサラウンド互換」「3Dエフェクト」「マルチチャンネル」
初期設定: 「マルチチャンネル」

「マルチチャンネル」

アナログマルチチャンネル入力端子(6CH INPUT)のあるAVアンプを使用する場合に選択します。DVDオーディオ、DVDビデオ、またはスーパーオーディオCDなどのマルチチャンネル音声信号は本機の6CH DISCRETE端子から出力されます。この設定ではDTS、ドルビーデジタル5.1チャンネルを本機でデコードします。またスーパーオーディオCDおよび88.2kHz以上のPCM信号を除く2チャンネル音声をドルビープロロジックIIデコードします。

「ステレオ」

この設定ではマルチチャンネル音声信号はステレオ(2チャンネル)にダウンミックスされます。テレビやステレオアンプなどに本機を接続するときに選択します。

「Dolbyサラウンド互換」

ドルビープロロジックデコーダー搭載の機器に接続する場合に選択します。この設定ではマルチチャンネル音声信号(ドルビーデジタル、DTS)はダウンミックスされてドルビーサラウンド互換の2チャンネル出力になります。スーパーオーディオCD、および88.2kHz以上のPCM信号は通常のステレオ(2チャンネル)にダウンミックスされます。

オンスクリーンメニュー

「3D エフェクト」

サラウンドスピーカーを使用せず、擬似的にサラウンドチャンネルを再現します。スーパーオーディオ CD、および 88.2kHz 以上の PCM 信号には無効です。

「PCM 出力」

出力する PCM 信号のサンプリング周波数を選択します。「48kHz」を選択した場合、デジタル信号はステレオの 48kHz 以下に変換されて出力されます。接続機器が 88.2kHz、96kHz に対応していない場合は「48 kHz」を選択してください。

選択肢：「48kHz」「96kHz」

初期設定：「96kHz」

ご注意：

- 著作権保護のためコピープロテクト処理されているディスクは、上記設定に関係なく 48kHz または 44.1kHz に変換されます。
- 「96kHz」を選択した場合、96kHz を超えるサンプリング周波数の信号はステレオの 88.2kHz または 96kHz に変換されます。

「SA-CD ダイレクト」

バスマネージメント機能のあるオーディオシステムでスーパーオーディオ CD を再生する場合、バスマネージメントをバイパスできます。スーパーオーディオ CD の音質をそのままに再生する場合に適しています。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オフ」

ご注意：

- 「SA-CD ダイレクト」をオンにした場合、スーパーオーディオ CD 再生中は「スピーカー」メニュー設定は適用されません。

「言語」

音声、字幕、オンスクリーンメニュー／DVD メニューの言語を選びます。この設定はディスクごとではなく、設定を変更するまでどのディスクにも適用されます。ディスクに収録されていない言語を選んでいる場合、他の言語で再生されます。

「デフォルト字幕」

字幕言語を選択します。この言語設定はディスクメニュー項目にも適用されます。

「メニュー」

オンスクリーン表示の言語を選びます。

「デフォルト音声」

音声言語を選びます。

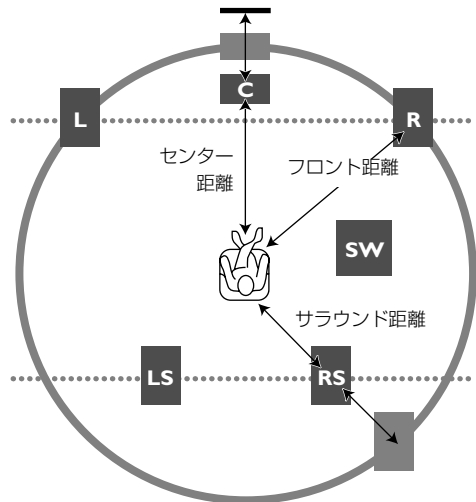
「スピーカー」

各スピーカーの有無、サイズ、スピーカーと視聴位置の距離を設定します。

5.1 チャンネルサラウンドを理想的な状態で再生するには、サブウーファー以外の各スピーカー位置と視聴位置との距離が同じであることが望まれます。

各スピーカーのサイズ、有無の設定は、以下の 7 通りです。

スピーカーサイズ/有無			
フロント	センター	サラウンド	サブウーファー
大	大	大	オン
小	オフ	オフ	オン
小	小	小	オン
大	オフ	オフ	オフ
大	小	小	オフ
大	オフ	小	オフ
大	小	オフ	オフ



ご注意：

- これらの設定は本機のアナログ端子から出力される信号についてのみ有効です。
- DVD オーディオ再生時は、設定に関係なく各スピーカーサイズは「サイズ大」、サブウーファーは「オン」になります。

「フロント距離」

視聴位置からフロントスピーカーまでの距離を設定します。フロント右、フロント左の位置はそれぞれ視聴位置から同じ距離に設置してください。単位はメートル (m) です。

選択肢：「1.0」～「12.0」(m)

初期設定：「1.9」(m)

「センター距離」

視聴位置からセンタースピーカーまでの距離を設定します。設定できる距離は「フロント距離」の設定によって変わります。

初期設定：「1.9」(m)

「サラウンド距離」

視聴位置からサラウンドスピーカーまでの距離を設定します。サラウンド右、サラウンド左の位置はそれぞれ視聴位置から同じ距離に設置してください。設定できる距離は「フロント距離」の設定によって変わります。

初期設定：「1.9」(m)

「フロントサイズ」

フロントスピーカーのサイズを選択します。

選択肢：「サイズ大」「サイズ小」

初期設定：「サイズ大」

「センターサイズ」

センタースピーカーのサイズを選択します。

選択肢：「サイズ大」「サイズ小」「オフ」

初期設定：「サイズ大」

「サラウンドサイズ」

サラウンドスピーカーのサイズを選択します。

選択肢：「サイズ大」「サイズ小」「オフ」

初期設定：「サイズ大」

「サブウーファー」

サブウーファーを使用するときは「オン」に、しないときは「オフ」にしてください。

選択肢：「オン」、「オフ」

初期設定：「オン」

ご注意：

お手持ちのスピーカーの組み合わせ通りに設定できない場合があります。

「DVD/CD モード」

スーパーオーディオ CD を除くオーディオ再生の各スピーカーの音量レベルを調整します。いずれかのスピーカーの音量レベルを変更すると、その他の音量レベルが適切な値に調整されます。

「フロント R レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「フロント L レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「センターレベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「サラウンド R レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「サラウンド L レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「サブウーファーレベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「SA-CD モード」

スーパーオーディオ CD 再生の各スピーカーからの音量レベルを調節します。この設定は「アナログ出力」で「マルチチャンネル」が選択されている場合のみ有効です。いずれかのスピーカーの音量レベルを変更すると、その他の音量レベルが適切な値に調整されます。

「カットオフ周波数」

サブウーファーのカットオフ周波数を調節します。

選択肢：「+60」、「+80」、「+100」、「+120」
(kHz)

初期設定：「+120」

「スロープ」

サブウーファーのフィルタースロープを調節します。

選択肢：「+12」、「+18」、「+24」(dB/oct)

初期設定：「+12」

「フロント R レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「フロント L レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「センターレベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「サラウンド R レベル」

選択肢：「-6」～「+6」

「サラウンド L レベル」

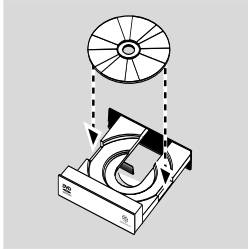
選択肢：「-6」～「+6」

「サブウーファーレベル」

選択肢：「-6」～「+6」

基本の操作

- 1 本体の STANDBY/ON キーを押して電源を入れます。
- 2 本体の ▲ キーを押してトレイを開けます。
- 3 印刷面を上にしてディスクをセットします。
- 4 ▲ キーを押してトレイを閉めます。
→ トレイを閉めると自動的に再生をはじめるディスクもあります。

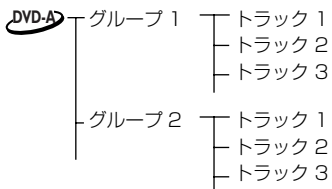
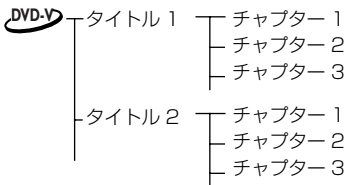


ご注意：

- ・ 「ディスクロック」が「オン」に設定されているときは4桁のパスワードを入力しないと再生できません。詳しくは「ディスクロック」を参照してください。
- ・ DVDのリージョンコードが2またはALL以外のディスクは再生できません。

DVD ビデオと DVD オーディオ

- ・ DVD ビデオディスクには1つまたは複数のタイトルが収録されており、タイトルの中には1つまたは複数のチャプターが収録されています。
- ・ DVD オーディオディスクには1つまたは複数のグループが収録されておりグループの中には1つまたは複数のトラックが収録されています。



ディスクの再生

- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。
自動的に再生が始まります。
→ テレビ画面および本機のフロントパネルディスプレイにディスクのタイプ、ディスク情報、再生時間が表示されます。
- 2 テレビ画面にディスクメニューが表示されたら、リモコンの ▲▼◀▶ キーまたは数字キーで設定項目を選択します。
タイトル番号が表示される場合は数字キーまたは ▲▼ キーで再生したいタイトルを選択します。
- 3 再生を停止するときは STOP キーを押します。

リジューム機能

停止した位置を記憶して、次回そこから再生を始める機能です。本機はディスク5枚分の停止位置を記憶できます。リジューム機能はビデオCD、スーパービデオCDでも使用できます。

再生の中断

- ・ STOP キーを押し再生を中断します。

本機に入っているディスクをリジューム再生する

- ・ PLAY キーを押すと自動的に中断した位置から再生を再スタートします。
または
- ・ STOP キーを再度押し、RETURN/RESUME キーを押すと、中断した位置から再生を再スタートします。
- ・ STOP キーを再度押し、PLAY キーを押すとディスクの最初から再生が始まります。
- ・ 画面にリジュームアイコンが表示されているとき PLAY キーを押すと中断した位置から再生を再スタートします。

一度本機から取り出したディスクをリジューム再生する

- ・ ディスクをもう一度トレイに入れます。
→ ディスクの最初から再生が始まります。
- ・ 再生中、画面にリジュームアイコンが表示されているとき PLAY キーまたは RETURN/RESUME キーを押すと中断した位置から再生を再スタートします。

DVD の各種機能

メニュー

再生中にメニュー画面を呼び出して好みのタイトル、チャプターの頭出しや、音声、字幕などを切り替えられます。

- 1 MENU キーを押します。
→ ディスクにメニューがある場合はメニューが表示されます。
・ ディスクメニューのトップ画面を表示するには、T/C キーを押し、次に MENU キーを押します。
- 2 該当する数字キー、または ▲▼◀▶ キーで DVD メニューを選択し ENTER/OK キーで選択を確定します。
- 3 MENU キーを再度押すとメニュー画面が消えます。

カメラアングル

同時に複数のアングルから撮影したシーンを収録しているディスクの再生中に、好みのアングルを選択することができます。

- ・ 複数アングルのあるシーンになるとテレビ画面に複数アングルアイコンが表示されます。
- ・ ANGLE キーを繰り返し押すか、▲▼ キーでご覧になりたいアングルを選びます。
→ 選択したアングルの映像になります。
- ・ オンスクリーンメニューの「アングル」でも選択できます。(「ツールバー」→「特殊再生」→「アングル」)

音声言語と音声フォーマットの変更

- 1 リモコンの AUDIO キーを押し音声選択メニューを表示します。
- 2 AUDIO キーを繰り返し押すか、▲▼ キーを押して言語とフォーマットを選びます。
- 3 ENTER/OK キーで選択を確定します。
・ 音声言語と音声フォーマットはオンスクリーンメニューでも選択できます。(「ツールバー」→「再生オプション」→「音声」)

字幕言語の選択

- 1 リモコンの SUBTITLE キーを押し字幕言語選択メニューを表示します。
- 2 SUBTITLE キーを繰り返し押すか、▲▼ キーを押して言語を選びます。
- 3 ENTER/OK キーで選択を確定します。
・ 字幕言語はオンスクリーンメニューでも選択できます。(「ツールバー」→「再生オプション」→「字幕」)

DVD オーディオの各種機能

DVD オーディオはリニア PCM またはパケット PCM の高音質オーディオを最大 6 チャンネルで再生するために開発されました。サンプリング周波数 192kHz / 24 ビットに対応しています。DVD オーディオディスクの多くは画像のスライドショー機能やページ送り機能が使えます。

- ・ ダウンミックス禁止処理されているディスクの再生時には本機のフロントパネルディスプレイの D.MIX インジケータは消灯します。マルチチャンネル収録のトラックはオンスクリーンメニューの「アナログ出力」設定に関係なく再生されます。MIXED 2CH 端子からはフロント L、R 以外のチャンネルは出力されません。

画面ページの切り替え

DVD オーディオディスクにはフォトギャラリー、アーティストバイオグラフィ、歌詞などが収録されているものがあります。
リモコンの PAGE キーを押すと画面ページが切り替わり、ページを切り替えるとページ番号が表示されます。

ボーナスグループの再生

ボーナスグループが収録されたディスクがあります。ボーナスグループには 4 桁のパスワードを入力すると再生できます。ディスクジャケットなどに記載された説明をお読みください。

- 1 再生停止中に T/C キーを押します。
テレビ画面にグループまたはトラックのリストが表示されます。
- 2 ▲▼ キーを押してボーナスグループを選び、▶ キーを押します。
- 3 数字キーで 4 桁のパスワードを入力し、ENTER/OK キーで選択を確定します。
→ パスワードを入力せずにパスワード入力画面を終了するには、STOP キーを押します。
- 4 ▲▼ キーでトラックを選び、ENTER/OK キーを押します。

DVD ビデオモード

DVD オーディオディスクには DVD ビデオとして再生可能なコンテンツがあります。

DVD ビデオコンテンツはオンスクリーンメニューで「再生オプション」の「DVD ビデオモード」メニューを「オン」にして再生します。

- ・ DVD オーディオディスク再生中は DVD-Audio インジケータが点灯します。
- ・ 「DVD ビデオモード」を「オン」に設定すると DVD-Audio インジケータは消灯します。

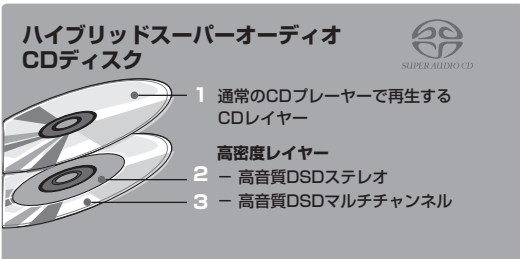
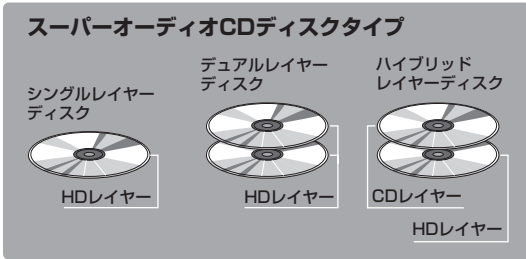
スーパーオーディオ CD

スーパーオーディオ CD の規格はダイレクトストリームデジタル (DSD) に準拠しています。DSD フォーマットは 1 ビットシステムで構成されており、通常のオーディオ CD の 64 倍のサンプリング周波数です。

スーパーオーディオ CD にはシングルレイヤー (一層) タイプ、デュアルレイヤー (二層) タイプ、ハイブリッドタイプの 3 種類があり、またステレオ音声を収録した 2 チャンネルディスク、最大 6 チャンネルを収録したマルチチャンネルディスク、1 枚にステレオ (2 チャンネル) エリアとマルチチャンネルエリアを収録したディスクがあります。

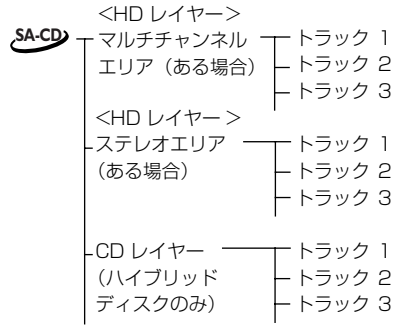
- ・シングルレイヤータイプのディスクは、一層の HD (高密度) レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。
- ・デュアルレイヤータイプのディスクは、二層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。二層あるためシングルレイヤータイプの 2 倍の情報を収録できます。
- ・ハイブリッドタイプのディスクは、一層の HD レイヤーに 2 種類のチャンネルエリアを収録できます。もう一層が従来のオーディオ CD レイヤーになっているため、通常の CD プレーヤーでも再生できます。

リモコンまたはオンスクリーンメニューで再生エリアを選択できます。



- ・スーパーオーディオ CD にはトラックだけが収録されています。
- ・トラックの選択はオンスクリーンメニューのプログラムリストか数字キーを使います。
- ・SA-CD テキストが収録されているディスクの場合、テレビ画面に表示されます。

SA-CD



ディスクの再生

1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。

自動的に再生が始まります。

→ テレビ画面に現在の再生モードとレイヤーの再生トラックリストが表示されます。

2 ディスクの最後まで再生して再生が止まります。

3 再生を停止するときは STOP キーを押します。

- ・オンスクリーンメニューの「アナログ出力」設定 (「セットアップ」→「オーディオ」→「アナログ出力」) でスーパーオーディオ CD をトレイに挿入したときに再生するエリアを指定できます。「ステレオ」を選んだときはステレオエリアが再生され、他を選んだときはマルチチャンネルエリアを再生します。

- ・ディスクに含まれないエリアを設定した場合は自動的に再生可能なエリアを再生します。

再生モードの切り替え

リモコンの SOUND MODE キーを押し、スーパーオーディオ CD のレイヤーおよびチャンネルエリアを切り替えます。

SOUND MODE キーを押すと HD レイヤー内のマルチチャンネルエリアまたはステレオエリアを切り替えます。ハイブリッドディスク停止中に SOUND MODE キーを押すと CD レイヤーを選べます。

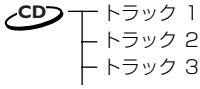
ご注意：

- ・オンスクリーンメニューで「アナログ出力」を「マルチチャンネル」に設定しても、マルチチャンネルが収録されていない場合は、自動的に「ステレオ」に設定変更されます。
- ・ハイブリッドディスクでは通常 HD (スーパーオーディオ CD) レイヤーを再生します。
- ・スーパーオーディオ CD レイヤーを選択中は SA-CD インジケーターが点灯します。
- ・プログラム再生は同じエリアに収録されたトラック内に限られます。

オーディオ CD

- オーディオ CD のトラックはテレビ画面のリストを使うか、数字キーを押して選択します。

CD



ディスクの再生

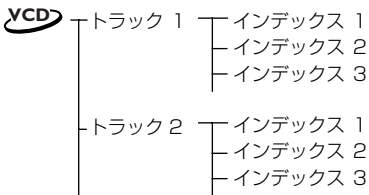
- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。
→自動的に再生が始まります。
→テレビ画面にトラックリストと再生状態が表示されます。
- 2 ディスクの最後まで再生して止まります。
- 3 再生を停止するときは STOP キーを押します。

ビデオ CD とスーパービデオ CD

本機は現在のビデオ CD 2.0 とスーパービデオ CD 1.0 規格の機能に対応しています。

- ビデオ CD には 1 つまたは複数のトラックが収録されています。そのトラックには 1 つまたは複数のインデックスが収録されています。
- テレビ画面にはトラックまたはインデックスを表示できます。

VCD ディスク



ビデオ CD, スーパービデオ CD の以下の機能/フォーマットに対応しています。

対応機能	ビデオ CD 2.0	スーパービデオ CD 1.0
映像 ビットレート NTSC	MPEG-1 常時 1150kbps 352x240 29.97Hz	MPEG-2 最大 2.6Mbps 可変 480x480 インターレース 29.97Hz
PAL	352x288 25Hz	480x576 インターレース 25Hz
静止画像 NTSC	MPEG-1 352x240 704x480	MPEG-2 (1 フレーム) 480x480 704x480
PAL	352x288 704x576	480x576 704x576
オーディオ サンプリング周波数 オーディオチャンネル サラウンドチャンネル	MPEG-1 レイヤー 2 44.1kHz 224kbps 1 ステレオ / 2 モノ ドルビープロロジック ステレオ	MPEG-1 レイヤー 2 44.1kHz 32-384kbps 2 ステレオ / 4 モノ MPEG-1 (5+1) 拡張
グラフィック/テキスト サブチャンネル コーディング		オーバーレイビデオブレイン 4 以上 4 色 CLUT (2 ビット/ ピクセル)

以下のフォーマットは対応していません。

- 2.4Mbps または 2.6Mbps でエンコードされた HQ-VCD
- 高解像度、高サンプリング周波数の XVCD
- DIVX フォーマットのファイル

ディスクの再生

- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。
→自動的に再生が始まります。
→現在のトラック番号と経過時間が表示されます。
- 2 ディスクの最後まで再生して止まります。
- 3 再生を停止するときは STOP キーを押します。

ご注意:

- リジューム機能はビデオ CD、スーパービデオ CD にも使用できます。(22 ページの「リジューム機能」をご覧ください。
- カラオケディスクを再生している場合は、AUDIO キーでボーカルの有無を切り替えられます。

プレイバックコントロール (PBC) 機能

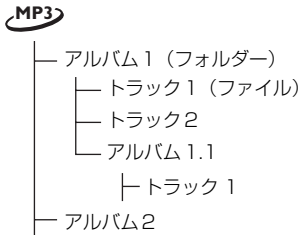
プレイバックコントロール (PBC) 機能のあるビデオ CD は、再生を始めると自動的にメニュー画面が表示され、見たい場面や情報を選ぶことができます。

- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めて、PLAY キーを押します。
 - 2 画面の表示ボタンで再生をスタートするまでメニューを操作します。PBC メニューでトラックリストが表示されたら、トラックを直接選びます。
 - 3 数字キーで選択します。
 - RETURN キー、または |◀◀ キーを押して前のメニューに戻ります。▶▶| キーを押すと次のメニューに移ります。
 - オンスクリーンメニューで PBC 機能を「オフ」にできます。
- 「PBC」メニューが「オフ」の場合は PBC メニュー画面は表示されません。

MP3

CD-R/RW ディスクに記録した MP3 フォーマットの音楽を再生できます。

MP3 ディスク



- MP3 フォーマットで数枚のアルバムを一枚のディスクに収録できるためフォルダーをアルバム、またファイルをトラックと呼びます。

MP3 ディスクの機能

MP3 ディスクフォーマット (ISO9660 フォーマット) は以下に対応しています。

- “.MP3” または “.mp3” がついた MP3 ファイル
- 最大 30 文字
- 最大 8 レベルのディレクトリー
- 最大 99 のアルバム番号
- 最大 999 のトラック番号
- VBR ビットレートに対応
- 32、44.1、48/16、22.05、24kHz の各サンプリング周波数に対応

以下の再生はできません。

- MP3 や JPEG 以外のファイルが収録されたディスク
- MP3 ファイルと JPEG ファイルの同時再生
- 日本語のファイル名、日本語 MP3 テキスト
- ファイナライズされていないディスク
- UDF フォーマットで記録されたディスク

MP3 ディスクの再生について：

- 多くの曲が1枚のディスクに編集されているため読み込み時間が10秒を超えることがあります。
- マルチセッションディスクに対応しています。
- MP3 ファイルのデジタル出力はコピープロテクトされています。

インターネットからの MP3 ファイルのダウンロードや、お持ちの正規のディスクのコピーは、著作権上取り扱いに十分な配慮が必要です。

ディスクの再生

- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。
→自動で再生が始まり、プログラムリストが表示されます。MP3 と JPEG のファイルが収録されたディ

スクの場合はどちらのファイルを再生するかを選択するメニューが表示されます。

- 2 ディスクの最後まで再生して止まります。
- 3 再生を停止するときは STOP キーを押します。

アルバム／トラックの選択

テレビ画面のリストから再生するアルバム／トラックを選択します。

- 1 ▲▼ キーで再生するアルバム／トラックを選択します。
- 2 ◀▶ キーで下のリストから再生するアルバム／トラックを選択します。

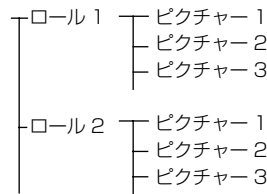
MP3 テキスト

MP3 ディスクは ID3 タグと呼ばれるトラック名、アルバム名、アーティスト名などの文字情報が収録されているものがあります。それらを本機のフロントパネルやテレビに表示できます。

JPEG

本機は一般に販売されている CD や個人で CD-R/RW に録画した JPEG フォーマットの画像を再生できます。本機はマルチセッションディスクに対応しています。

JPEG ディスク



JPEG ディスクの機能

JPEG ディスクフォーマット (ISO 9660 フォーマット) は以下に対応しています。

- 最大 8 レベルのディレクトリー
- 最大 99 のロール
- 最大 999 の画像
- “.JPEG”、“.jpeg” または “.JPG”、“.jpg” がついた JPEG ファイル

以下のディスクや条件には対応していません

- PBC 機能付きディスク
- MP3 や JPEG 以外のファイルが収録されたディスク
- JPEG ファイルと MP3 ファイルの同時再生
- プログレッシブ JPEG フォーマットのファイル
- ファイナライズされていないディスク
- UDF フォーマットで記録されたディスク

ご注意：

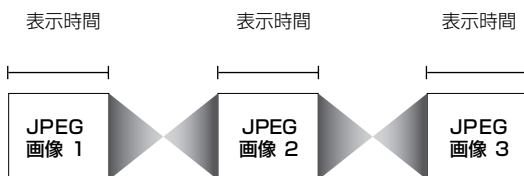
- ・ 画像データの容量が大きなディスクは、読み込み時間が10秒を超えることがあります。読み込みにかかる時間はファイルの種類やサイズによって異なります。

ディスクの再生

- 1 ディスクをトレイに入れ、トレイを閉めます。
 - 自動で再生が始まります。
 - 画面にサムネールが表示されます。
 - 選んだサムネールを画面いっぱいに表示できます。
 - 2 ▲▼◀▶ キーでカーソルを移動してサムネールを選び、ENTER/OK キーを押します。MENU キーを押すと前のサムネール画面が表示されます。
 - 3 サムネールが画面いっぱいに表示されている間にPLAY キーを押します。
 - スライドショーが始まります。
 - 3 再生を停止するときにはSTOP キーを押します。
 - スライドショーが停止します。
- ・ 再度 MENU キーを押すと画面いっぱいの表示からサムネール画面に戻ります。
 - ・ PAUSE キーを押すと、スライドショーは一時停止します。通常のスライドショーに戻るにはPLAY キーを押します。
 - ・ リピート再生はJPEG ファイルにも使用できます。

スライドショー設定

オンスクリーンメニュー画像の表示時間を設定できます。



- 1 ON SCREEN キーを押します。
 - オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーで「表示時間」メニュー（「ツールバー」→「スライドショー」→「表示時間」）を表示し、▶ キーを押します。
- 3 ▲▼ キーで表示時間を選択します。
 - 選択肢： おそい（約8秒）、ノーマル（約5秒）、はやい（約2秒）
- 4 ◀ キーを押して、前のメニュー画面に戻ります。
 - ・ ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニュー画面が消えます。

画像の回転

JPEG 画像を回転できます。

- 1 ON SCREEN キーを押します。
 - オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーで「回転」メニュー（「ツールバー」→「特殊再生」→「回転」）を表示し、▶ キーを押します。
- 3 ◀▶ キーで選択を決定します。
 - 選択肢：「-180」、「-90」、「0」、「+90」、「+180」
- 4 ◀ キーを押して前のメニュー画面に戻ります。
 - ・ ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニュー画面が消えます。

ご注意：

- ・ スライドショー再生中にこの機能は利用できません。

よく使う機能**チャプター／トラックの選択**

ディスクに複数のチャプター、トラックなどが収録されている場合は以下のように選択します。

直接チャプター／トラックを選ぶ

- 1 リモコンのT/C キーを押します。
 - T/C メニューが表示されます。
- 2 ▲▼ キーまたは数字キーでタイトル／チャプター（DVD ビデオ）、トラック／インデックス（ビデオCD）、グループ／トラック（DVD オーディオ）、アルバム／トラック（MP3）、トラック（CD、スーパーオーディオ）を選択します。
 - リモコンのRETURN/RESUME キーを押すと T/C メニュー表示が消えます。

前後のチャプター／トラックを選ぶ

- 1 再生中に▶▶▶ キー（または◀◀◀ キー）を短く押すと、次のタイトル、チャプターに進みます。（そのタイトル、チャプターの最初から再生します。）
 - ・ ◀◀◀ キーを2回続けて押すと、その前のタイトル、チャプターに戻ります。

数字キー操作

チャプター／トラックを直接選択するには、数字キーでその番号を入力します。たとえばチャプター番号12を選択するには、数字キー1 → 2 と押します。

再生する

サーチ

キー操作

早送りまたは早戻しのスピードを変えてサーチできます。2秒以上 **▶▶** または **◀◀** キーを押し続けるとスピードが変わります。

オーディオディスクでは -8、-4、+4、+8 が、ビデオディスクでは -32、-4、+4、+32 のスピードが選択できます。

オンスクリーン操作

- 1 オンスクリーンメニューで「早送り／早戻し」メニュー（「ツールバー」→「サーチ」→「早送り／早戻し」）を表示します。
- 2 ◀または▶キーを押し、早送り／早戻しのスピードを選択します。
早戻しは -32、-8、-4、早送りは +4、+8、+32 です。
- 3 1 を選択すると通常のスピードに戻ります。

スローモーション

- 1 オンスクリーンメニューで「スロー再生」メニュー（「ツールバー」→「サーチ」→「スロー再生」）を選び、▶キーを押し、再生が一時停止します。
- 2 ◀または▶キーを押し、スローモーションのスピードを選択します。
逆方向は -1、-1/2、-1/4、-1/8、順方向は +1/8、+1/4、+1/2、+1 のスピードが選択できます。
- 3 +1 を選択すると通常のスピードに戻ります。
- 4 || キーを押すと一時停止します。
- 5 PLAY キーを押すとスローモーションモード解除になります。

ご注意：

- ・ DVD オーディオは動画部分のみスローモーション再生できます。
- ・ ビデオ CD、スーパービデオ CD は、逆方向にスローモーション再生できません。

静止画像とコマ送り再生

キー操作

PAUSE キーを繰り返し押します。

オンスクリーン操作

- 1 オンスクリーンメニューで「コマ送り」メニュー（「ツールバー」→「サーチ」→「コマ送り」）を選び、▶キーを押し、再生が一時停止します。
- 2 ◀または▶キーを押し、前後の画像フレームを選択します。
- 3 PLAY キーを押すとコマ送り解除になります。

ご注意：

- ・ DVD オーディオは動画部分のみコマ送り再生できません。

タイムサーチ

選択した経過時間の位置から再生できます。

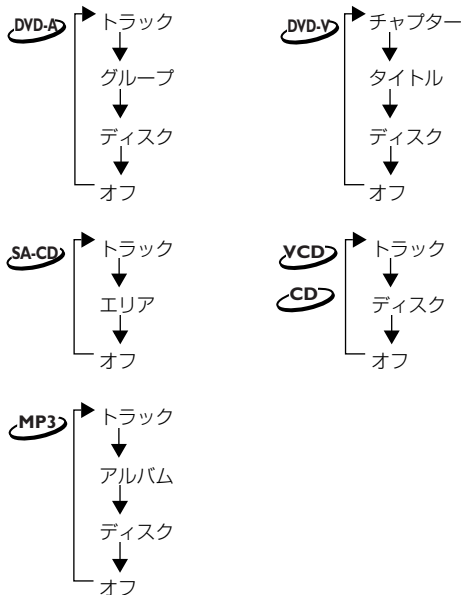
- 1 オンスクリーンメニューで「タイムサーチ」メニュー（「ツールバー」→「サーチ」→「タイムサーチ」）を選びます。
→再生が一時停止します。
→テレビ画面に再生経過時間が表示されます。
- 2 数字キーで左から順に時間、分、秒を入力します。
→項目を入力すると次の項目がハイライトされます。
- 3 ENTER/OK キーで入力を確定します。
→入力した経過時間の位置から再生します。
- 4 ON SCREEN キーを押すと経過時間表示が消えます。

リピート再生

REPEAT キーを押してディスクの特定のチャプター／トラックなどをリピート再生できます。

REPEAT キーを押すたびにリピートモードが以下のように切り替わります。



リピート再生できないディスクもあります。

リピート A-B

トラック内の選択 2 点間をリピートします。


タイトル内の選択 2 点間をリピートします。

- 1 リピートを始めたい位置で A-B キーを押します。
→ 本体のフロントパネルディスプレイに RPT A- と表示されます。
- 2 リピートを終了したい位置で A-B キーを押します。
→ 本体のフロントパネルディスプレイに RPT A-B が短く表示されリピート再生が始まります。
- 3 もう一度 A-B キーを押すと通常の再生に戻ります。
→ 本体のフロントパネルディスプレイに RPT OFF と表示されます。

スキャン      

各チャプター、トラックなどの最初の 10 秒間だけ再生できます。

- 1 SCAN キーを押します。
- 2 そのまま再生を続ける場合は、もう一度 SCAN キーを押すか PLAY キーを押します。

ご注意：

- ・ オンスクリーンメニューの「チャプタープレビュー」でもスキャン再生できます。

シャッフル (順不同) 再生

ディスク内のタイトル／グループ／アルバムに複数のチャプターまたはトラックがある場合、チャプターまたはトラックを順不同で再生できます。

タイトル／グループ／アルバム内のシャッフル (順不同) 再生が終了すると、次のタイトル／グループ／アルバム内のシャッフル (順不同) 再生を続けます。

- 1 再生中に SHUFFLE キーを押します。
→ テレビ画面に 2 秒間ほど SHUFFLE と表示されます。
- 2 もう一度 SHUFFLE キーを押すと通常の再生に戻ります。

ディスク内のトラックを順不同で再生できます。

- 1 再生中に SHUFFLE キーを押します。
→ テレビ画面に 2 秒間ほど SHUFFLE と表示されます。
- 2 もう一度 SHUFFLE キーを押すと通常の再生に戻ります。

ご注意：

- ・ スーパーオーディオ CD では、選択されたエリア内のトラックのみシャッフル再生できます。

ズーム   

映像を部分的に拡大します。また、拡大画像を再生中または一時停止中にパン (表示箇所を移動) します。

- 1 リモコンの ZOOM キーを押すか、オンスクリーンメニューで「ズーム」メニュー (「ツールバー」→「特殊再生」→「ズーム」) を選び、▶ キーを押します。
→ 画面にカーソルが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーで拡大したい部分を移動します。
- 3 ENTER/OK キーを押して画像を拡大します。
ENTER/OK キーを押す度に拡大率が 2 倍、4 倍、8 倍と変わります。
- 4 ズームモードを抜けるには RETURN/RESUME キーを繰り返し押して「× 1」を選び、カーソルが画面から消えるまで ZOOM キーを押します。

再生する

プログラムリストの作成（トラックセレクト）

DVD-A DVD-V SA-CD YCD CD MP3

- ・ お好みのトラックなどをリストにして再生する機能です。
- ・ プログラムリストには最大 20 トラックを入れることができます。
- ・ 最後に登録したトラックがリストの一番上に置かれます。

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「プログラム」メニュー（「ツールバー」→「プログラム再生」→「トラックセレクト」）を選び、▶ キーを押します。
- 3 ▲▼ キーでカーソルを移動し、選択トラックなどを入れる項目を選び、ENTER/OK キーを押します。
→ リストに追加される時選択した項目が一時的に点滅します。
- 4 この操作を繰り返してリストを作成します。
- 5 ◀ キーを押し、次に ON SCREEN キーを押すと「トラックセレクト」入力が終了します。
→ 次いで自動的にリストの再生が始まります。

ご注意：

- ・ オンスクリーンメニューの「プログラムリスト」メニューで、選択しているリストを確認できます。（「ツールバー」→「プログラム再生」→「プログラムリスト」）
- ・ スーパーオーディオ CD では、選択されたエリア内のトラックのみリストに登録できます。
- ・ DVD オーディオのボーナストラックを再生するにはパスワードの入力が必要です。

プログラム再生

プログラムリストを再生するには「プログラム再生メニュー」を「オン」にします。

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーで「プログラム再生」メニュー（「ツールバー」→「プログラム再生」→「プログラム再生」）を選び、▶ キーを押します。
→ ▼ キーで「オン」「オフ」を選びます。
- 3 ◀ キーを押し、次に ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消えます。

登録項目の消去

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「プログラムリスト」メニュー（「ツールバー」→「プログラム再生」→「プログラムリスト」）を選び、▶ キーを押します。
- 3 ▲▼ キーでカーソルを移動し、消去したい項目を選び、ENTER/OK キーを押します。
→ 選択された項目が消去されます。
- 4 ◀ キーを押し、次に ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消えます。

リストクリア（全消去）

リストを一度に消去できます。

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「リストクリア」メニュー（「ツールバー」→「プログラム再生」→「リストクリア」）を選び、▶ キーを押します。
→ 「クリアします」が一時的に表示され、リスト全体が消去されます。
- 3 ◀ キーを押し、次に ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消えます。

ディスクロック

ディスクごとに視聴制限をかけることができます。ロックしたディスクは、パスワードを入力しなければ再生されません。

- 1 リモコンの ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「パスワード入力」メニュー（「セットアップ」→「視聴制限」→「パスワード入力」）を選び、▶ キーを押します。
- 3 4桁のパスワードを決めて入力します。
- 4 ▲▼ キーで「ディスクロック」メニューを選びます。
- 5 ▲▼ キーで「オン」「オフ」を選びます。
- 6 ◀ キーを押し、ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消えます。
→ 「ディスクロック」メニューを「オン」に設定すると許可されたディスク以外は4桁のパスワードを入力しなければ再生できません。

ディスクの視聴許可

「ディスクロック」が「オン」に設定されているときは、そのディスクを視聴許可しなければ再生できません。

- 1 ディスクを挿入します。
ディスクロック/画面が表示されます。
- 2 「1回再生可」または「常に再生可」を設定するためにパスワードを入力します。
 - ・ 「1回再生可」に4桁のパスワードを入力した場合は一回だけの再生許可となります。ディスクを取り出したり、本機の電源をオフにした場合はパスワードを再入力しなければなりません。
 - ・ 「常に再生可」にパスワードを入力した場合はディスクロックがオンになっていても、そのディスクはいつでも再生できます。



ご注意：

- ・ 本機は「常に再生可」で視聴許可したディスクを最大120枚まで記憶できます。
- ・ ディスクが120枚を超えたときは、新しいディスクが一番古いディスクに変わって記憶されます。
- ・ 画面ディスクまたは数枚セットのディスクの場合、各画面ごとまたは各ディスクのIDが異なる場合があります。そのようなディスクは各サイド、各ディスクに視聴許可が必要です。

ディスク視聴許可の取り消し

「常に再生可」で視聴許可したディスクは、許可を取り消すまで再生可能です。

以下の手順で許可を取り消すことができます。

- 1 ディスクをトレイに入れる。
→自動的に再生が始まります。
- 2 画面に  が現われてから10秒以内に STOP キーを押します。
 が表示され、そのディスクがロックされます。

視聴制限

視聴制限のレベルを設けた DVD(ディスクのジャケットなどに表示があります)では、お子さまが視聴するのに適さないシーンに視聴制限をかけることができます。8段階のレベル設定があり、レベルは国によって異なります。

- 1 再生停止中に ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼ キーでオンスクリーンメニューの「パスワード入力」メニュー (「セットアップ」→「視聴制限」→「パスワード入力」) を選びます。
- 3 4桁のパスワードを入力します。
- 4 ◀▶ キーで「視聴制限レベル」メニューを選び、▶ キーを押します。
- 5 ◀または▶ キーで 1～8 のレベルを選びます。

レベル 0:

視聴制限はかけられません。

レベル 1～8:

本機に視聴制限レベルを設定するとそのレベル以下のシーンはすべて再生されます。設定レベルを超えるレベルのシーンは再生されません。設定レベル以下の代替シーンが収録されていればそれを再生します。代替シーンがない場合は再生が停止し、レベル設定を変更するためのパスワード入力画面になります。

- 6 ENTER/OK キーを押し、ON SCREEN キーを押すとオンスクリーンメニューが消えます。

国コード

視聴制限レベルを国に合わせて設定できます。

- 1 再生停止中に ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「パスワード入力」メニュー (「セットアップ」→「視聴制限」→「パスワード入力」) を選びます。
- 3 4桁のパスワードを入力します。
- 4 ▲▼ キーで「国コード」メニューを選び、▶ キーを押します。
- 5 ▲▼ キーで国を選びます。
- 6 ENTER/OK キーで選択を確定します。

パスワードの変更

- 1 再生停止中に ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 2 ▲▼◀▶ キーでオンスクリーンメニューの「視聴制限」メニュー (「セットアップ」→「視聴制限」) を選び、▶ キーを押します。
- 3 ▼キーで「パスワード変更」を反転表示させ、▶ キーを押します。
- 4 現在のパスワードを再入力します。
新しいパスワードを入力します。
- 5 新しいパスワードをもう 1 度入力します。
- 6 ON SCREEN キーを押してメニューを終了します。
新しいパスワードが有効になります。

パスワードを忘れたら

- 1 ▲OPEN/CLOSE キーを押してディスクを取り出し、▲キーをもう一度押してディスクトレイを閉めます。
- 2 ON SCREEN キーを押します。
→ オンスクリーンメニューが表示されます。
- 3 ▲▼◀▶ キーで「パスワード入力」(「セットアップ」→「視聴制限」→「パスワード入力」) を選び、▶ キーを押します。
- 4 ■ キーを 4 回押します。
→ 「新しいパスワードを入力してください」と表示されます。
- 5 新しいパスワードを入力します。
・ 本機の工場出荷時のパスワードは 0000 です。

故障かな？と思ったら

使用中に本機が正常に作動しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に作動しない場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	解決方法
電源が入らない	－ 電源プラグがしっかりと差し込んであるかご確認ください。
映像が出ない	－ テレビのスイッチが入っているかご確認ください。 － 映像端子の接続をご確認ください。
映像が歪む	－ ディスクに汚れがある場合は拭いてください。 － 歪みがひどい、または白黒になる場合は、NTSC/PAL の設定がお使いのテレビとあっているかご確認ください。（「ビデオ出力方式」参照）
音が出ない、または歪む	－ 接続したアンプやテレビのボリュームを調節してください。 － スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。
デジタル端子から出力される音声信号が再生されない	－ デジタル端子の接続をご確認ください。 － お使いのアンプが、選択している音声フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合は音声フォーマットを切り替えるか、「セットアップ」メニュー「オーディオ」の「デジタル出力」を「PCM」に設定してください。
ディスクが再生できない	－ DVD+R/DVD+RW/DVD-R/DVD-RW/CD-R/CD-RW の各ディスクはレコーダーでファイナライズしなければ再生できません。 － ディスクのラベル面が上になっているかご確認ください。 － ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを再生してみてください。 － 画像や MP3 を収録したディスクの場合、少なくとも 6 ～ 10 枚の画像か 3 ～ 5 曲のトラックが記録されているかご確認ください。 － 室温の急激な変化などにより、レーザー読み取り部が結露することがあります。電源を切ったらしばらく放置してください。
ディスクを取り出しても初期画面（DVD VIDEO と YAMAHA ロゴ）に戻らない	－ 本機の電源を一度切ってから再度電源を入れてください。
本機がリモコンに反応しない	－ 本機正面のセンサーに向けてください。 － 距離を近づけてみてください。 － 電池を交換してください。 － 電池の方向が正しいかご確認ください。
キーが働かない	－ 本機をリセットするために電源コードを一度抜いてから再度電源を入れてください。
再生中に操作できない機能がある	－ ディスクによって操作できない機能があります。ディスクのジャケット等にある説明もご覧ください。

主な仕様

オーディオ部

周波数特性

DVD

2Hz～44kHz (96kHz サンプルング)

CD、ビデオ CD 2Hz～20kHz (EIAJ)

S/N 比 115dB (EIAJ)

ダイナミックレンジ

スーパーオーディオ CD 107dB

DVD (48kHz、24bit) 103dB

全高調波歪率

スーパーオーディオ CD 0.0017%

DVD (48kHz、24bit) 0.0017%

ビデオ部

TV 方式 NTSC/PAL

ビデオ出力信号

ビデオ 1Vp-p/75Ω

Sビデオ (Y/C) 1Vp-p/0.286Vp-p/75Ω

コンポーネント (Y、PB/CB、PR/CR)

1Vp-p/0.7Vp-p/75Ω

D1/D2 1Vp-p/0.7Vp-p/75Ω

総合

電源電圧/周波数 100V、50/60Hz

消費電力 約 25W

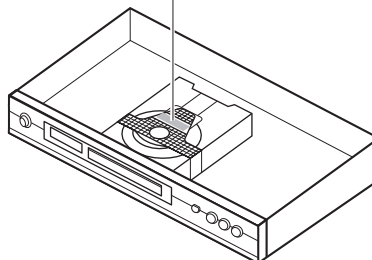
待機時消費電力 1W 以下

寸法 (幅 x 奥行き x 高さ) 435 x 315 x 55 mm

質量 約 3.2 Kg

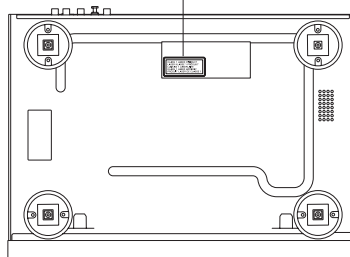
CAUTION -VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN.
AVOID EXPOSURE TO BEAM.

注意 -ここを開くと可視及び不可視のレーザー光が出ます。
ビームを直接見たり、触れたりしないで下さい。



CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1 PRODUKT
LUOKAN 1 LASERLAITE
KLASS 1 LASER APPARAT
PRODUIT LASER DE CLASSE 1

クラス1レーザー製品



ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせは

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 3459

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00
(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ

<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

